

早明浦ダム再生事業環境モニタリング委員会（第5回） 議事要旨

開催日時 令和8年9月11日（金） 14:00～16:10

開催場所 早明浦ダム・高知分水管理所（ふれあいホール）

出席委員

○：委員長

氏 名	所 属	備 考
石川 和男	松山東雲女子大学 名誉教授	
石川 慎吾	高知大学 名誉教授	
一色 健司	高知県立大学 名誉教授	WEB参加
今城 雅之	高知大学 農林海洋科学部海洋資源科学科 准教授	
○ 笹原 克夫	高知大学 教育研究部自然科学系 教授	

（敬称略。五十音順）

議事要旨

1) 委員会規約

早明浦ダム再生事業環境モニタリング委員会規約の改正について了承された。

2) 前回委員会における委員指摘事項とその対応

第4回委員会（令和7年9月4日開催）時の委員指摘事項に対する対応を説明し了承された。

なお、ゴショイチゴに関する事項は「環境モニタリング結果」と合わせて審議された。

<委員からの意見等>

- ・濁水に関する臨時調査実施の基準としては問題ないが、基準を超過した際に工事の影響の有無を判断する根拠は明確にしておく必要がある。例えば、日平均濁度10度以上が1週間以上継続の基準の場合、台風等の気象による影響と工事影響はどう切り分けるか、継続日数が基準未満（10日未満）でも工事の影響がないとするのか等が挙げられる。

→判断根拠を明確にする方向で検討する。

3) 早明浦ダム再生事業の概要と進捗状況

早明浦ダム再生事業の概要、進捗状況、令和7～8年度の工事実施内容を説明した。

<委員からの意見等>

- ・工事の進捗状況は掲載されている写真（ドローンで撮影）のように、俯瞰した視点からの方が、放流管等が見えてわかりやすい。工事現場のライブカメラについて、位置を工夫できれば良い。

→上流仮締切工事の移設など、工事の進捗に応じて、ライブカメラの視点を変えていく予定である。放流管が見える位置等、設置する位置については検討させていただく。

4) 環境モニタリング結果

環境モニタリング結果について説明し、了承された。

<委員からの意見等>

【大気質・騒音・振動・水質】

- ・濁水処理設備における水質測定結果について、環境基準を一時的に超過しているが、環境基準を超過した処理水は再処理され、基準値を満足した状態で放流されていることを明記

する必要がある。また、適切に処理されていることがわかるように、濁水処理設備の性能等を記載する必要がある。

- ・下流河川における濁度について、吉田橋と比較して本山橋で高い場合が多いが、原因について把握しておく方が良い。

→本山橋地点は支川（汗見川、地蔵寺川）から合流した後の河川水であり、支川から濁度の高い河川が水流入することにより高くなりやすい。また、2025年9月頃に本山橋で濁度が高くなっている際には、周辺で間伐が行われており、そこからの濁水が流入していた可能性もある。

- ・水質調査結果に限らず、測定結果で突発的に高い値となるような異常値は、要因がわかるように別途整理しておく必要がある。

【希少猛禽類】

- ・精度の高いモニタリング調査により、この地域の希少猛禽類の生息実態が良く把握されている。生態系ピラミッドの頂点に位置する希少猛禽類が9種類確認される等、地域が生態系豊かな環境であることがわかる。猛禽類の生息実態に変化があった場合、工事による影響の有無の評価で終わるのではなく、周辺地域の環境に変化があったかも含めて着目する等、この地域の生態系を保全する観点でも貢献できるとよい。

【植物】

- ・ゴショイチゴの種子の発芽条件は解明されていないが、休眠打破のためには年数が必要な可能性もある。今後も種子が採取できる場合、種子は土に埋めた状態で保管する方法も考えられる。
- ・ゴショイチゴの保全は中長期的な目線で考える必要がある。事業者でできる範囲に限られるかもしれないが、事業が終了した時点で保全活動が途切れないように、地域住民を含めた保全措置の検討ができればよい。また、ゴショイチゴは明るい環境を好み、定期的な環境整備（間伐等）が必要である。移植回数も少ない方が望ましいため、管理可能な移植候補地が選定できるとよい。管理方法の例として、OECMに登録するといったことも考えられる。
→造成跡地は移植候補地になり、事業完了後も用地内は水資源機構で管理可能であるが、どのような管理が実施可能かは検討が必要である。移植候補地や地域住民を含めた保全措置等、今後の検討事項とする。
- ・ユキモチソウ、シラン及びヒナランについては適切にモニタリングされ、個体群が維持されていることが把握できている。

【人と自然との触れ合いの活動の場】

- ・X（旧ツイッター）等のSNSを活用した情報発信もできると良い。公的機関のSNSは固くなりがちであるが、文章の書き方など親しみやすいものが好ましい。

【環境巡視】

- ・工事は順調に進み、環境巡視による指摘が減少していることは望ましいことである。ただ

し、緊張感をもって継続することが重要であるため、今後も適切に対応し、適宜結果の公表やPRに活用するとよい。

5) 早明浦ダム再生事業と環境モニタリング委員会のスケジュール

早明浦ダム再生事業のモニタリング調査の継続、今後の環境モニタリング委員会の開催時期について説明し了承された。また、早明浦ダム再生事業完了後はダム管理業務にあわせた環境調査に移行し、ダム管理フォローアップ委員会で報告する方針について説明し、了承された。

以 上